



平成25年7月22日0時現在、鬼怒川上流4ダム最大の川俣ダムの貯水率は42%。

川俣ダム（平成25年7月22日撮影）

## 節水へのご協力をお願いします！

～ 鬼怒上流ダム群の貯水率が下がっています ～

鬼怒川上流の4ダム（川俣ダム、川治ダム、湯西川ダム、五十里ダム）合計の貯水量が7552万トン、貯水率（有効容量＝夏期制限容量に対し）50%となり、鬼怒川の水利用に支障が出るおそれがあります。（平成25年7月23日0時現在）

鬼怒川の佐貫上流域では、月ごとの累加降水量（降水量の合計）で、5月は46mm（平年の36%）でした。

これは、昭和47年以降で2番目に少ない降水量でした。

また、6月は171mmで平年（178mm）の約96%でしたが、梅雨明けが早かったため、7月1日から22日までの累加降水量は54mmで、平年の7月の累加降水量が228mmに対し約24%にとどまっています。

鬼怒川の佐貫上流域では、今年は春以降、雨の少ない状況が続いています。

今後、まとまった降雨が期待できないため、節水へのご協力をお願いします。

## 渇水対策支部を設置しました

下館河川事務所は、平成25年7月23日14時00分  
渇水対策支部を設置し準備体制に入りました。

このまま、少雨傾向が続くと、ダムの貯水量は更に低下し、下流の利水に支障を与えるおそれがあることから、下館河川事務所は平成25年7月23日14時00分に渇水対策支部を設置し、準備体制に入り、河川巡視を強化しました。

鬼怒川上流4ダムの貯水状況は[こちら](#)